

## 北九州市モーダルシフト推進補助制度について ~平成22年度実績と平成23年度新規申請者募集~

北九州市では、平成18年度に開始した「モーダルシフト推進補助制度」を平成23年度も実施します。  
 この制度は、北九州港を利用したモーダルシフト(貨物トラック等から内航コンテナ、フェリー、鉄道等環境に優しい輸送手段への転換)に対して補助金を交付することで、運輸・物流部門でのCO2削減を推進し、環境モデル都市・北九州市を広くPRするとともに、北九州港の利用促進を図るものです。

### 1 H22年度の傾向と成果

- 1) 内航RORO船と外航船を利用したシー&シー輸送が実現  
 海外向け精密機械輸送において、内航 RORO 船で門司の物流センターに貨物を集約し、精密機器専用船で海外へ輸出する複合一貫輸送が実現した。
- 2) 紙、飲料水、鋼材等、フェリー・RORO船輸送に適した貨物が増加  
 フェリー・RORO船輸送の強みである20トンシャーシの無人航送に適した密度の高い(重量勝ち)貨物が増加した。

### これまでの実績

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
補助件数		14件 (認定17件中、 事業中止等3件)	11件 (申請15件中14件を認定 うち、事業中止等3件)	13件 (認定19件中、 事業中止等6件)	24件	16件 (認定19件中、 事業中止等3件)
輸送モード	シー&レール	3	2	0	0	0
	コンテナ・フィーダー	1	1	1	1	2
	フェリー	9	4	8	22	11
	RORO船	1	4	4	1	3
取扱貨物量	12ftコンテナ	45個	162個	—	—	—
	20ftコンテナ	2,147個	2,562個	29個	44個	172個
	40ftコンテナ	390個	717個	—	—	—
	トレーラー・バン車	1,988台	1,217台	3,075台	6,332台	4,589台
年間CO2削減効果		約5,000t-CO2/年	約5,100t-CO2/年	約5,000t-CO2/年	約12,000t-CO2/年	約7,400t-CO2/年

申請事業名称及び申請者名は北九州港 HP ( [http://www.kitaqport.or.jp/jap/topics/modal\\_boshu.html](http://www.kitaqport.or.jp/jap/topics/modal_boshu.html) )  
 をご覧ください。

## 2 H23年度モーダルシフト推進補助制度 募集内容

### (1) 募集期間

平成23年7月4日(月)～平成23年8月10日(水)

### (2) 補助対象

下記の条件を全て満たす輸送事業に対して補助を行います。

北九州港を利用し、かつ北九州港の利用促進につながる輸送であること

平成23年4月1日以降に新規にモーダルシフトを行うこと

既に実施中のものについても平成23年4月1日以降の増量分は対象とします。

CO2の削減が見込まれること

### (3) 補助申請者

申請は輸送依頼者と輸送事業者の共同申請とし、共同申請者の代表に対して補助金を交付します。

### (4) 補助金額

① 以下の単価を上限とし、輸送実績(個数)に応じ、予算の範囲内で補助金額を決定します。

	12ft コンテナ	20ft コンテナ	40ft コンテナ	フラットラック	トレーラー・バン車(12m)
単価	1,000 円	1,500 円	3,000 円	3,000 円	3,000 円

②補助上限 申請事業1件に対し300万円を限度とします。

## (参 考)

### 申請から決定までの流れ

#### 1 実施要項及び申請様式の入手

北九州港のホームページ※からダウンロード、又は港湾空港局物流振興課窓口にて入手。

※ [http://www.kitaqport.or.jp/jap/topics/modal\\_boshu.html](http://www.kitaqport.or.jp/jap/topics/modal_boshu.html)

#### 2 申請内容決定

「輸送依頼者」と「輸送事業者」の共同で申請様式にモーダルシフト輸送計画を記入。

#### 3 申請書提出

期限: 平成23年8月10日(水)

場所: 北九州市門司区西海岸1-2-7 北九州市港湾空港局物流振興課

電話: 093-321-5941

#### 4 申請内容審査及び補助金交付対象事業決定

申請内容について「北九州市モーダルシフト推進補助制度検討会」の意見を聴いたうえで、北九州市が補助対象事業を決定。

決定後は代表申請者あてに書面で通知する。

対象事業決定は10月を予定